

## 令和4年度第二回水と緑の森づくり会議 意見概要

日時：3/9（木）13：30-15：30

- 坂本委員（部門：地域活動）
- 内田委員（部門：森林インストラクター）
- 佐藤委員（部門：森林経営）
- 安達委員（部門：木材利用）
- 福島委員（部門：公募）
- 山本委員（部門：担い手）
- 小川委員（部門：教育）

### （1） 令和4年度水と緑の森づくり事業の実績見込みについて

- 森づくり推進事業について  
みーもサマースクールについて、申し込みまで余裕をもってチラシ配布しPRしたほうが良い。
- しまねの山をつくる種づくり・苗づくりについて  
山崩れに強い山づくり、保全涵養に強い品種改良なども視野に入れてみてはどうか。  
担い手について、高校生に限らず小、中学生のうちに林業が身近な存在と感じてもらえることが大切だと思う。
- 担い手不足について  
製材所でも担い手不足の現状がある、就業者については業界全体をPRされたい。

### （2） 令和5年度みーもの森づくり事業の採択に係る意見交換について

事業提案団体29について、以下の意見をいただきました。

- 提案の中に関係人口を増やすという内容があり良いと思った。一方で委託業者に丸投げしている気がする。事業予算の中で保険についてはどのように考えているかとても気になる。子供が参加される場合事故がないように行われたい。毎年同じ事業者が申請をしているような気もする。県全体に周知し、広く申請できるよう工夫が必要ではないか。
- 山を管理することは人手がいるけど、県民参加で人を集めてみんなで植えた木を育てて行こうというところをアピールし広げて欲しいと思った。

- 山の管理を継続するっていうことは、個人ではなかなかできないこと。また、事業実施場所に目立つ場所を選択するというのはPRになってよい。
- PRして人を集めることは大変なことなので手助け的なものがこの事業自体の中に含まれていると、やりやすいと思った。
- 所有の山を維持することも大変な中、地域活動として企画提案されること自体すごいと思う。特に継続事業を少人数でやっている高齢者の方には感心する。企業については企業の予算でやっていただきたい気もするが、PR力という面で評価できる。体験学習などミーも通信等を利用しPRされたら良いのではないか。
- 記入例などがあれば予算事業の内訳など詳しく書けるのではないかと思う。事業に参加して、山に興味を持ってもらえるところは多分続くかもしれないけれども、ただ整備しただけでは続かないと思う。
- 林業学習を学校のカリキュラムの中に組みこむことで特色のある活動をされている。

### (3) その他の意見

- ミーも通信について  
誰をターゲットにしているかわからない内容になっている。対象を絞って制作してみたほうが良い。
- 「山」には仕事がたくさんあると感じたが情報が非常に少ない。わかりやすいPRが必要。事業全体のPR不足